

モニタリング結果報告書（平成25年度下半期）

施設	座間谷戸山公園
指定管理者	公益財団法人神奈川県公園協会
指定期間	H21.4.1 ～ H27.3.31
施設所管課	都市公園課（厚木土木事務所東部センター）

今期の指定管理者の管理運営状況（1～6の結果を踏まえた総合評価）

B

（総合評価の基準）

- A：極めて良好な管理運営状況である。
（「1 管理運営等の状況」を含むAが3つ以上で、CとDが1つもない場合）
- B：良好な管理運営状況である。
（Cが1つ以下でDがない場合）
- C：一部改善が必要な管理運営状況である。
（Cが2つ以上の場合。または、Dが1つの場合）
- D：抜本的な改善が必要な管理運営状況である。
（Dが2つ以上の場合）

<p>< 1 管理運営等の状況 > 本公園の特色である里山環境の保全と活用を目指し、ボランティアによる里山保全管理活動のサポートに積極的に努め、園内の散策、自然とのふれあいが安心安全にできるような環境づくりに努めた。 なお、園内の木製施設の老朽化に伴う維持修繕作業や、園路付近の枯損木処理等について迅速な対応を行っているなど積極的な修繕作業等を行っている。</p> <p>< 2 収支状況 > 指定管理料に対して支出が上半期と下半期で差があるが、年度全体では概ね計画とおりの収支となっている。</p> <p>< 3 利用状況 > 公園においてコミュニケーションの場を設けるために各種イベントを実施して利用促進を図った結果、今期は利用者が前年対比で11%程度増加した。</p> <p>< 4 利用者の満足度 > 満足度調査においては良以上の評価が全体の97%を占めており、利用者からの満足度は高いものとなっている。</p> <p>< 5 苦情・要望等 > 本公園の管理運営方針に基づいた管理（樹林地の伐採）を実施した結果、要望が多数発生したが運営会議など利用し適切に対応している。</p> <p>< 6 事故・不祥事等 > 職場体験で中学生が薪割りを実施したところ、指を負傷した。</p> <p>< 今後の方針等 > 今後は、更に座間谷戸山運営会議を活用してボランティア団体等との情報交換を密にすると共に、作業内容等の周知をしっかりと行い、樹林地の管理を進めるよう努めていただきたい。また公園に対する要望苦情等については、作業員を含む職員全員で情報共有すると共に、要望内容を明確に把握した上で対応を行っていただきたい。</p>
--

1 管理運営等の状況

評価 **B**

（評価の目安）

- A：事業計画、仕様書等の内容を上回る事業を実施した。
- B：概ね事業計画、仕様書等の内容どおりに事業を実施した。
- C：事業計画、仕様書等の内容のうち、一部の事業を実施していない。
- D：事業計画、仕様書等の内容のうち、半数以上の事業を実施していない。

(1) 事業の実施状況

	提案内容	実施状況等
1 （指定管理業務）	<p>県民との協働による里山の自然環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本公園の特徴である、里山の自然環境を守るため県民や市民団体と協働・連携による環境や生物モニタリングの実施。 ・座間谷戸山公園運営会議やボランティアによる里山保全活動のサポート。 ・管理運営マニュアルに基づいたエリアごとの管理運営の推進。 	<p>本公園の特徴を活かすため、座間谷戸山公園運営会議によりボランティア団体と情報共有しながら管理運営を実施した。また、「里山保全隊」（毎月活動）による里山林の保全活動などのサポートを積極的に行った。</p> <p>観察林などエリアごとに相応しい管理運営を実施している。</p>

	提案内容	実施状況等
2 (指定管理業務)	豊かな自然環境を生かした絆の育成 ・人と自然の絆づくり 豊かな自然環境を管理保全、発信して人材の育成を図る。 ・人と里山文化の絆づくり 里山の環境等の体験、学ぶ機会と場の提供 ・人と人の絆づくり イベントやボランティア活動を通じてのコミュニケーションの場づくり	公園内で見られる自然環境（生物、植物）などを運営会議で情報交換し、公園利用者に対しても情報を園内の掲示板でお知らせする等情報発信に努めている。 様々なイベントを実施しており、ボランティア団体と共催して、内容についても親子連れで参加できるものを多数実施する等、公園での活動を通じてコミュニケーションの場をつくる事に積極的に取り組んでいる。
3 (指定管理業務)	利用と保全のバランスのとれた魅力ある公園づくり ・適切な維持管理、安全管理及び利用促進 ・バリアフリーや健康に配慮した公園づくり ・観察林、田んぼ、体験館などを利用した楽しめるプログラムの開発 ・自然環境の保全と都市公園としての利用のバランス	各施設について、安全に利用できるよう維持管理作業を実施しており、園路沿いの枯損木等積極的に処理するなど安全管理に努めている。 イベントについては維持管理に関する内容や自然観察に関するものなど様々なイベントを計画に基づいて実施している。
4 (指定管理業務)	木道等の施設、樹木等の安全のための点検、清掃補修等を積極的に実施して、来園者の安全確保に努めた。	園内巡視を日々実施して、清掃及び必要に応じて施設の補修等行った。特に園路周辺の枯損木は積極的な処理に努め迅速な対応を図った。
5 リストから選択		

(2) 月例報告書による確認状況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11月10日	2月7日	○	○	○	有	ボランティア団体の対応について確認指導。
11月	12月10日	2月7日	○	○	○	有	ボランティア団体の対応について確認指導。
12月	1月10日	2月7日	○	○	○	有	ボランティア団体の対応について確認指導。
1月	2月10日	3月28日	○	○	○	有	事故対応について確認指導。
2月	3月10日	5月15日	○	○	○	無	
3月	4月10日	5月15日	○	○	○	無	

※基本協定書上の月報等提出期限

の 10 日まで

2 収支状況

評価 B

(評価の目安)

収支計画（支出額）と比較して

- A：収支状況が良好である（収支差額のプラスが10%以上）。
 B：概ね計画どおりの収支状況である（収支差額がプラスマイナス10%未満）。
 C：計画と異なり、収支差額に10%以上20%以下のマイナスが生じている。
 D：計画と異なり、収支差額に20%を超える大幅なマイナスが生じている。

単位：千円

		収入額（自主事業収入は除く）				支出額		収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		うち納付金	
募集時の県積算額 (参考)		61,299			61,299			61,299
年度計画	前年度	59,000	0	0	59,000	0	0	59,000
	上半期	29,134	0	0	29,134			29,134
	下半期	29,866	0	0	29,866			29,866
	今年度	59,000	0	0	59,000	59,000	0	0
	上半期	29,888	0	0	29,888	29,888		0
	下半期	29,112	0	0	29,112	29,112		0
上半期合計		29,888			29,888	25,242		4,646
対収支計画比		0.0%			① 0.0%	② ▲ 15.5%	③	15.5%
通年実績	10月	4,237			4,237	5,250		▲ 1,013
	11月	5,143			5,143	4,395		748
	12月	6,016			6,016	6,504		▲ 488
	1月	5,022			5,022	3,891		1,131
	2月	3,899			3,899	4,638		▲ 739
	3月	4,795			4,795	8,177		▲ 3,382
	下半期合計	29,112	0	0	29,112	32,855	0	▲ 3,743
	対収支計画比	0.0%			① 0.0%	② 12.9%	③	▲ 12.9%
	通年合計	59,000	0	0	59,000	58,097	0	903
	対収支計画比	0.0%			① 0.0%	② ▲ 1.5%	③	1.5%
参考	前年度 下半期実績合計	29,866			29,866	32,366		▲ 2,500
	対前年度 下半期実績比				▲ 2.5%	1.5%		

※その他収入の内容 駐車場収入

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

確認項目	[参考] 上半期	下半期	通年	収支計画と異なる理由等
① 収入の増減（収支計画対比±10%以上）	×	×	×	
② 支出の増減（収支計画対比±10%以上）	○	○	×	夏季の酷暑などの影響により、施設修繕や植物管理など作業効率を考慮した上で下半期に重点的に実施したため
③ 収支差額のマイナス（収支計画収支差額対比）	×	○	×	予期せぬ大雪の除雪のため

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
 基本協定において、県が負担することとしている修繕費等： 30万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期		
下半期	1,572	四阿屋根補修（499千円）、水鳥デッキ補修(1,073千円)
合計	1,572	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

3 利用状況

評価 A

(評価の目安)

今年度下半期利用者数が、
目標対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

目標利用者数等を設定していない場合、前年同期対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

入所施設等定員がある場合、定員比で

- A : 100%
- B : 90%以上
- C : 80%以上
- D : 80%未満

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
10月	37,230 人	36,255 人	102.7 %
11月	42,455 人	37,044 人	114.6 %
12月	32,694 人	22,758 人	143.7 %
1月	34,549 人	25,067 人	137.8 %
2月	18,424 人	24,704 人	74.6 %
3月	32,518 人	31,101 人	104.6 %
合計	197,870 人	176,929 人	111.8 %

	利用者数	前年同期利用者数	目標利用者数 (または定員数)	目標(定員) 対比増減率	前年同期 対比増減率
下半期計	197,870 人	176,929 人	184,000 人	① 107.6 %	② 111.9 %
上半期計	233,182 人	186,386 人	177,000 人	① 131.8 %	② 125.2 %
合計	431,052 人	363,315 人	361,000 人	① 119.5 %	② 118.7 %

※目標値の設定の有無

	設定している		その他の場合の期間
期間	半期ごと	期間	その他の場合の期間
基準	過去数年間平均	基準	

利用状況に関する確認等

確認項目	[参考] 上半期	下半期	通年	理由及び対応策
① 目標対比±5% (目標値対比増減率105%以上または95%以下)	○	○	○	身近に自然と触れ合える公園として散策する方々に好評であり、イベントも多数実施して知名度も上がっていることから、利用者数が増加している。
② 前年対比±5% (前年同期対比増減率105%以上または95%以下)	○	○	○	樹林の間伐を園路沿いを中心に実施しており、安心安全に散策が楽しめる環境づくりが進んできたため、利用者が増加している。

<参考>

施設の最大利用可能人数

	駐車場						合計
定員(1日あたりの延べ人数)	146						146
年間利用可能日数	365						
最大人数	53,290	0	0	0	0	0	53,290
半期	26,645	0	0	0	0	0	26,645

※複数の施設がある場合は個別に記入する。

4 利用者の満足度（アンケート結果）

評価 A

(評価の目安)

「満足」（4段階評価及び5段階評価の場合、上位2段階）と答えた割合が

A：80%以上

B：60%以上～80%未満

C：40%以上～60%未満

D：40%未満 又は（A～Cにかかわらず）「不満足」と答えた割合が50%以上

－：今期は実施していない

	とても 良い	良い	普通	悪い	とても 悪い	合計	上位2段階 の割合
総合満足度の回 答結果	31	21	1	1	0	54	52 (97.0%)
〔参考〕 上半期結果	48	40	2	2	0	92	88 (96.0%)

※今年度の実施予定

上半期 6 回

下半期 4 回

その他

※配布・回収件数

配布 54 件

回収 54 件

回収率 100.0% %

※実施方法

利用者等に配布

5 苦情・要望等

評価 B

(評価の目安)

A：要望等を積極的に把握して改善を行う等、サービス向上を図った。

B：指定管理者に起因しない苦情・要望等があったが、適切に対応した（苦情・要望等がない場合も含む）。

C：指定管理者に起因する苦情・要望等があったが、適切に対応した。または、指定管理者に起因しない苦情・要望等があり、適切に対応していない。

D：指定管理者に起因する苦情・要望等があり、適切に対応していない。

報告件数

下半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	簡易アンケート等	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管 課受付分	3 (0)	0 (0)	8 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (0)
〔参考〕上半期結果	2 (0)	2 (0)	3 (1)	0 (0)	3 (0)	10 (1)

苦情・要望等への対応

該当あり

分野	概要	対応状況
施設・設備	身障者トイレの戸が予期せず閉じる	具体的利用方法を教示
	トイレのセンサー照明が消える	再点灯方法の掲示と節電の協力依頼
職員対応		
事業内容	木を切りすぎる	里山公園の管理のためには必要であると説明
その他	ライブカメラの設置	公園に来て臨場感を体験してくださいと回答

※ 指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望等への対応を行ったものを記載。

6 事故・不祥事等

評価 C

(評価の目安)

- A : 事故・不祥事等を防止するために積極的に取り組み、事故等が発生しなかった。
- B : 軽微な事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した（事故等が発生していない場合も含む）。
- C : 事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した。または、軽微な事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。
- D : 事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。

発生状況及び対応状況

該当あり

発生日	事故等の概要	原因・問題点	指定管理者の対応状況・改善策等
1月30日	職場体験で中学生が薪割りを実施したところ、誤ってナタで指を負傷した。	ナタを木材に差し入れたところ、木材が腐食していたため、木材が欠け、木を支えていた手を負傷した。使用木材の確認を怠った。	傷の状況から救急車を要請した。次回に備えて、鋼入り手袋を用意するとともに使用する木材の状態を確認する。
2月16日	大雪により園路に降雪や倒木があり、安全に通行できない状態であった。	通行不可の看板を主要な入り口には掲示したが、看板が小さく不十分であった。	通行不可の看板を追加配備した。
1月5日	チェーンソーで枝揃え作業中に作業員が負傷した。	作業員の作業方法が不適切だった。	緊急現場研修及び定期現場研修の実施。小さな枝はチェーンソーを使わずに処理する。

随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果等
()		
()		
()		